



大山町の ブランドを考える

大山恵みの里づくり～私たちにとってのブランドとは？～研修会～

それぞれの立場からブランド開発への思いを語りました

町の特産品などのブランドを考える研修会が、7月6日（金）に役場本庁で行われました。研修会では、大山恵みの里づくり構想の中でのブランド育成と、農林水産物の高付加価値化、特産品・料理・商品の磨き上げと供給力の強化をテーマに、生産加工者、事業販売者や関係機関が一堂に会し意見交換を行いました。

はじめに、下岡地域プロデューサーがブランドの定義や販売戦略、消費者の行動心理として全国のブランド成功例について講演。次に大山振興課担当者が、ブランド保護のために昨年からはじめた、地域団体商標制度について説明しました。

意見交換では「町の特徴を活かしたブランド開発が必要」「農産物、水産物、加工品などの分野ごとに検討していく必要あり」「ブランド化による農林水産業の振興によりUJイターンの促進を図る」などさまざまな意見がでました。今後は分野ごとに検討を重ね、開発を進めていきます。

大雨に備えた訓練 を実施



ぞくぞくと公民館に集まる高橋集落のみなさん



県職員と、砂防ボランティアによる講習を真剣に聞きました

6月23日（土）、土砂災害防災訓練が高橋集落で実施されました。

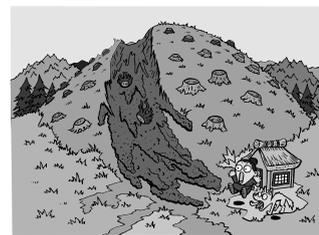
これは、大雨によりがけ崩れの前兆が発見されたとの想定で避難勧告の発令とともに、高橋集落のみなさんが、集会所に避難するというものです。

訓練には、高橋集落のみなさんのほか、消防団員、役場職員

などあわせて130人が参加。9時5分に避難勧告が発令されると、消防団員や自主防災会役員らの誘導により、全住民が無事集会所へ避難しました。

避難訓練後は、砂防ボランティアによる、土砂災害に対する講習会が開かれ、参加されたみなさんは、大雨に備えた心がけなどを真剣に聞いていました。

みんなで防ごう 土砂災害



人命や大切な財産を一瞬のうちに奪う土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害は、一年のうちでも降雨量の多い、梅雨時から秋の台風シーズンにかけて発生しやすくなります。近年は異常な集中豪雨による被害も頻発しています。雨が降ったら「早めの避難」をこころがけましょう。

危険箇所図は最寄りの県土整備局、役場本庁地域整備課、各支所ふるさと振興課で見ることが出来ます。日ごろからどこが危険か、避難場所はどこか、確認しておきましょう。

○問い合わせ先

地域整備課

☎ 0859・54・5203